

【中学校社会科(2年)】単元構想図 第3章 日本の諸地域「東北地方～伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らし～」(全6時間)

単元学習前の生徒の姿(認識)
東北地方は、冬寒さが厳しく雪がたくさん降る。青森のリンゴや庄内平野の稲作など、農業が盛んな地域。逆に、工業は発達していないのではないか。伝統的な祭りや食文化が多く残っていて、古からの生活が今も続いていることや、やませや大雪、地震などで災害の被害が多い印象がある。

【事実に関する認識を獲得する場】

1. 東北地方に関心をもつ場

①【学びに向かう力・人間性等】東北地方のあらまし
○東北地方の自然環境や産業、文化を捉えることを通して、東北地方には各地にさまざまな伝統文化が色濃く残されていることに気づき、人々の生活と伝統文化のかかわりについて興味をもつことができる。

東北地方は、どのような特色がある地域なのだろう？

- ・自然環境: 険しい山地、厳しい冬、冷夏、やませ、災害の歴史
- ・産業: 日本有数の米どころ、産業別就業人口、交通網の発達
- ・文化: 食文化、伝統工芸、祭り

資料:「食文化、伝統工芸、祭り」資料:「東北地方のくらし」

【地域的特色を捉える場】

2. 東北地方の特色について理解する場

②【知識及び技能】東北地方の食文化や伝統工芸品とその変化
○きりたんぼ鍋や「いぶりがっこ」といった伝統的な食文化や、秋田杉を利用した「大館曲げわっぱ」「秋田杉桶樽」について調べ、通して、気候や環境を産業に生かしながら厳しい冬を乗り切る工夫や、産業での工夫について理解することができる。

東北には、どのような伝統的な食文化や産業があるのだろうか？

資料:「東北地方の主な郷土料理」
「東北地方の主な伝統工芸(品)」
「秋田杉(の特色)と秋田杉桶樽」、「大館曲げわっぱ」

③【知・技・判断・表現】東北地方の祭りや伝統行事とその変化
○秋田市の「なまはげ」といった伝統的な行事について調べ、通して、長く厳しい冬の中で家族の絆を深めるとともに、地域社会で子どもを育てようとする人々の思いがわかる。

男鹿地区で伝統行事のなまはげが続けられているのはどうしてだろう？

資料:「なまはげの歴史」「伝統行事であるなまはげ」
「男鹿地方の真山神社と真山伝承館について」
「世界遺産である伝統行事を守る取り組み」

〈防災教育の視点〉
東日本大震災など、過去の災害の経緯や出来事を調べ、「自助・共助・公助」の視点で様々な取り組みに気づき、人々の命や生活を守ることに考えていることができる。

〈単元のねらい〉
○東北地方の自然や伝統的な生活・文化といった地域的特色について関心をもち、課題追究しようとする態度を養うことができる。

○課題解決に向けて地図や統計資料等を的確に読み取り、東北地方の自然や伝統的な生活・文化等について理解することができる。

○東北地方の自然や伝統的な生活・文化について、多面的・多角的に考察するとともに、東北地方の人々が地理的・自然環境的に厳しい生活を克服するために伝統文化を大切ににし、さらなる変化に対応しながら受け継いでいることに気づくことができる。

【主体的に社会の形成に参画する力(の基礎)を育む場】

3. 東北地方に住む人々の生活や生き方に迫る場

④【思・判・表等】伝統文化の継承と未来に向けた社会づくり
○江戸時代から続く「竿灯まつり」について調べ、東北の祭りは困難な地理的条件を共に乗り越えてきた象徴であることに気づき、地域開発や戦争によって途絶えかけたにも関わらず人々のつながりによって伝統文化が受け継がれてきたことを考えることができる。

「竿灯祭り」は、なぜ200年以上も続いているのだろうか？

資料:「東北地方の主な祭り」「竿灯祭りの歴史」「竿灯祭り地域」「竿灯会の歩みと藤田会長」「六魂祭とは」
東日本大震災で多くの祭りが自粛されるさなか、あえて開催した理由から、東北地方における祭りの意義を考える。

「防災教育の視点」で単元の中核となる授業【本時】

⑤【学びに向かう力・人間性等】災害から学び、今と未来を生かす
○東日本大震災などの過去に起きた災害の経緯や教訓を調べ、防災や減災のための様々な「自助・共助・公助」の取り組みに気づき、これからの人々の命や生活を守ることに考えていることができる。

東北地方では、東日本大震災や過去の災害(の教訓)から何を学び、どのように生かそうとしているのだろうか？

資料:「東日本大震災について」「東北地方の災害の歴史(年表)」「防災の石碑」「防災のための様々な取り組み」

※「指導案(本時の展開)」と資料は別紙参照

4. 東北地方の特色を一般化する場

⑥【知識及び技能】東北地方の特色
東北地方の特色や学んだことを、工夫してまとめてみよう。

資料:「これまでの学習資料」「学習ノート」

【単元を貫く課題】東北地方では、人々の生活に伝統や文化がどのように結びついているのか。

単元学習後に期待する生徒の姿(認識)
はじめは東北地方についてよく知らなかったけど、地域の特色を生かした伝統文化が色濃く残っていることが分かった。また、伝統文化が生活の一部となっていて、厳しい冬の寒さや自然災害などの困難を乗り越えるために、東北の人たちは祭りを通して1つになっている。生活の中で受け継がれていくものこそ伝統であり、だからこそ特に東日本大震災での教訓を受け継ぎ、後世に伝えていくことで自分や周りの人の命を大事にして生きていけるようにしたい。

防災教育を軸とした教科横断的な学習（社会科）指導案 【令和7年度版】

1 単元名 2年生社会科（地理分野）東北地方
「過去の継承と未来に向けた社会づくり」

日 時:令和7年 月 日 第 校時
学 級: 2年 組(2年 組教室)

2 本時のねらい

東日本大震災などの過去に起きた災害の経緯や取組を調べることを通して、人々が防災や減災のために様々な「自助・共助・公助」に取り組むとともに、過去の経験や教訓を生かそうとしていることに気づき、人々の命や生活を守るために自分たちは何をしなければよいか考えることができる。

3 本時の展開（5/6）

段階	学 習 活 動	研究内容との関わり
見 通 す	<p>1. 「東日本大震災後の石碑」を巡る過去の出来事や取組について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1933年の地震の後に建てられた石碑は、後世の人のために作られている。 ・石碑の設置や住居の移築をして、被害の再発をしないように取り組んでいる。 	<p>●学習課題の工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の後につくられた石碑や言い伝え等を具体的に提示することで、さらなる興味や関心を高める。 ◆資料①「自然災害伝承碑」 ◆資料②Eテレ「明日をまもるナビ（115）」（宮古市の石碑等）を視聴する <p>●「個別最適な学び」の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自然災害伝承碑（国土地理院データや自治体資料）や「津波てんでんこ」等の言い伝え、ハザードマップ等、各自が教科書や書籍、SNS等で調べる。 <p>●「協働的な学び」の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が調べたことを交流し、共通点や相違点について考える。 ・「視点」を明らかにして、考えを広げ深める。 <p>●「深い学び」のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発問」や「問い返し」により考えを深める ◆資料③Eテレ「明日をまもるナビ（115）」（岩手県大槌町の木碑の自然災害伝承碑について等）を視聴する <p>●「振り返りの場」の工夫</p>
つ	<p>2. 課題に対して予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言い伝えや記録を残し、防波堤や家を建てる場所を工夫している。 ・防災グッズや防災食を用意したり、避難訓練を大事にしたりしている。 <p>3. 個人追究する。（一人で考える場）</p> <p>4. 全体交流することで、自分と仲間の考えを比較して考える。</p>	
か	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【「自助や共助」の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家具の転倒・落下防止の備え ・防災グッズ（非常用品）の備え ・危険箇所や避難場所の確認 ・災害時の行動についての話し合い ・地域の避難訓練への参加 <p>⇔災害への備えと、非常災害時の行動についての共通理解</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【「公助」の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の出来事や記録をもとにした自治体や消防、警察や自衛隊の取組 ・復興計画やハザードマップの作成 ・法令や条例、危機管理マニュアルの改正 <p>⇔災害に強い町づくりと、住民の防災意識を高める取り組み</p> </div> </div>	
む	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>過去の教訓を生かして「自助」・「共助」・「公助」に取り組むことで、 人々の対話や協力を大事にしながら住民の命を守ろうとしている。</p> </div>	
深 め る	<p>5. 東日本大震災の教訓を伝えるのに、岩手県大槌町では、なぜ「石碑」ではなく耐久性の低い「木碑」を作ったのだろう？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【自分たちで命を守り、生活や地域をつくっていく】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あえて朽ち果てていく「木碑」を設置することで、自分たちの手で4年に1度設置し直すことで言い伝えを確認し、過去の教訓を風化させないようにして住民の命を守り続けようとしているんだ。 <p>⇔自分たちも非常用品や危険箇所の確認など、日頃からの備えをしなければ。</p> </div>	
ま と め る	<p>6. 学習を振り返り、考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>東北地方の取組のように、過去に起きた災害や取組について詳しく知り、教訓を忘れないように受け継いでいくことが、自分や周りの人の命を守ることにつながるんだ。しかし、想定外のことも起こりうるから、まずは自分が日頃からの備えを大事にして、情報を把握したり、人々で対話したりして判断・行動していくことが重要なんだ。</p> </div>	
		<p>●【評価規準】<u>学びに向かう力・人間性等</u>（+思・判・表）</p> <p>防災や減災のために、被災地でどのような取り組みが行われているかを調べ、自分たちが何をすべきかを考え、行動しようとする事ができる。</p> <p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート等の記録 ・発言や交流の様子

防災教育を軸とした教科横断的な学習（社会科）指導案

1 単元名

「自然災害と防災・減災への取り組み」

日 時:令和7年 月 日 第 校 時

学 級: 2年 組(2年 組教室)

2 本時のねらい

国土の災害の状況を、災害の種類や発生の位置や時期などに着目して自然条件との関連を考えながら捉え、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や地方自治体などが 様々な防災対策や事業を進めていることを調べ、理解することができる。

3 本時の展開（6/8）

段階	学習活動	研究内容との関わり
見 通 す つ か む 深 め る ま と め る	<p>1. 日本の地形や気候をもとに、様々な災害について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本には山や火山が多いから、土砂崩れや噴火の被害が起きる。 台風や地震が多いため、洪水や津波、液状化現象や建物倒壊が起きる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本では、どのような自然災害が起こり、それらを防ぐ(防災や減災の)ためにどのような取り組みが行われているのだろう。</p> </div> <p>2. 課題に対して予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市でハザードマップが作られ、消防署・消防団が見回りをしている。 避難所の設置や整備、避難訓練の実施が行われている。 <p>3. 個人追究する。（一人で考える場）</p> <p>4. 全体交流することで、自分と仲間の考えを比較して考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【災害の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震 津波 土砂崩れ 地盤の液状化 火山の噴火 台風と、洪水や高潮 大雪や雪崩による災害 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【自治体の動きについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市役所(危機管理課) ○消防署 ○警察署 ○防災士会 <p>の取組や災害時の行動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他(自衛隊等)の取組や動き </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>各自の調査したことについて、交流して情報交換して、課題についての考えを広げたり深めたりする。</p> </div> <p>5. 「命や生活を守る」うえで、 大切なことは何か？ それぞれの立場でできること、 行動できることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【自分たちで生活を改善し、地域をつくっていく】⇒人権の保障</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自助」について… ○「共助」について… ○「公助」について… <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>それぞれの具体的な取り組みについて分類しながらまとめ、今後さらにすべきことや重視すべきことを表現し、交流する</p> </div> </div> <p>6. 学習について振り返り、これからの生活のために考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分(達)で日頃の備えをしっかり行い、災害時にはできることを行うことで、自分(達)の命を守ることが大事だとわかった。 また、住民の命や地域の生活を守るために、様々な人がそれぞれの立場で、様々な取組や支援が行われていることがわかった。 特にこれから、自分は……をしていくようにしたい。</p> </div>	<p>●学習課題の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書や被災地の動画・画像等の資料を提示する <p>●見通しを持つ工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自の予想(発言)の視点を明確にし、分類して板書に位置付ける <p>●「一人で学ぶ場」の工夫</p> <p>◆市役所(危機管理課)、消防署、警察署、防災士会の方を協力者(ゲストティーチャー)として招き、資料提供や質問できる場を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書や書籍、SNS等で調べる。 <p>●「協働的な学び」の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自が調べたことを交流し、共通点や相違点について考える。 <p>◆視点をもとに「発問」や「問い返し」により考えを深める</p> <p>【評価規準】(知・技等)</p> <p>防災や減災のためにどのような取り組みが行われているかを調べ、「自助」・「共助」・「公助」について理解し、表現することができる。</p> <p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートやタブレットの記録 ・発言や交流の様子